

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 <small>(内用地補償費)</small>	億円
		通常砂防事業 <small>みやまえ</small> 宮前川	養父郡八鹿町 <small>いわさ</small> 岩崎		約2.0 <small>(約800万円)</small>
所在地				着工予定年度	完成予定年度
養父郡 八鹿町 岩崎				H14年度	H16年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・流域の荒廃が進んでいるため、上流から生産される土砂により下流民家への洪水被害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置することにより、人命・財産を保全する。			・砂防堰堤工 2基 (H = 8.5m, L = 53.7m) (H = 6.5m, L = 54.7m)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・宮前川は1次谷を呈し、(土石流危険渓流)に準ずる渓流である。 ・流域状況は、急峻な地形であり、近年の降雨で渓流の荒廃が進み、崩壊土砂が渓流中に堆積している状況であるが、砂防設備は未整備である。 ・平成2年9月の台風19号豪雨により下流へ土砂が流出し、河道が埋塞しており、今後も土砂災害及び浸水被害の危険性は高い。 ・保全対象：人家60戸、公共施設 = 町道、田畑 = 23.0ha			
地域の活性化		・砂防堰堤工事により、下流への土砂流出の軽減により洪水防止等を図ることにより、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。			
快適性・ゆとり		・堰堤設置により流からの土砂生産を抑制し、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安全で快適な生活空間を確保出来る。			
その他		・地元からの事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域に該当し、砂防堰堤工の整備により地域間格差の是正に寄与する。			
(2)有効性・効率性 有効性		・上流からの土砂生産を軽減し、また下流への土砂流出に起因する洪水被害を防止し、民生の安定を図れることから、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。			
(4)優先性		・被害想定区域には、人家60戸、被害が生じると一時的に地区が分断される町道及び広大な田畑がある。 ・流域状況は平成2年9月台風19号の集中豪雨による荒廃が進み、次期出水による土砂流被害及び洪水被害が発生する可能性があるため早急な対策が必要である。			